

短歌 全14首

金足の吉田投手の頑張りに日本中から声援あり  
水と塩上手く摂取しこの夏を越ゆればほのか月影清か  
秋立つも猛暑和らぐ兆しなく只身を守るだけの日々なり  
エアコンを止めて窓開け鳴く虫に耳をかたむけ早秋の夜  
夏の庭夜目にも白く凜と咲く鉄砲百合は今咲き盛る  
台風と猛暑に地震天災のニュースに不安朝餉の時間  
背負はされし誕生餅によるけるも女孫ご機嫌あんよが上手  
一周忌兼新盆終えなお続く猛暑に遺影も団扇で扇ぐ  
二歳児を奇跡の発見尾畠さんボランティア誠意の深く身に沁む  
政界もスポーツ界も教職も半端な人間なぞ巣くうんだ  
嫁ぎし子故郷祭り待ちわびて家族揃って遊ぶイベント  
国宝の中空土偶人だかり身動きできず目だけ動かす  
山合いのソーラーパネルかんとして黒く光りて真夏の空に  
老いるとは変に悲しい手も足も蹴躓いたり缶開かぬとき

下日野沢 新井 進  
三沢 新井 民子  
三沢 新井 叶子  
三沢 新井 ちか  
皆野 新井 達也  
皆野 石原 達也  
下日野沢 新井 節子  
上日野沢 四方田利男  
皆野 引間 万亀  
皆野 打木 昭広  
下日野沢 浅見 豊子  
皆野 戸塚喜久雄  
皆野 村田ハツ代  
皆野小六年 太幡琉美花  
国神 藤原マキ子  
三沢 鈴木 貞恵

根岸茉莉選 投稿数12句

秋の蝶銀杏の枝に舞い下る  
秋の蝶は春や夏の生命力に溢れた華やかさは少し違って、どこか命のはかなさ  
が感じられます。銀杏の葉が舞い落ちるように、黄蝶が風に身を任せながら枝に  
舞い降りたのを見た作者はハッと思い「下る」と表現したのでしよう。二句目。昔  
は西瓜を井戸につるして冷やし、大家族で賑やかに食べたものでした。二人で「この  
大きな西瓜をどうしよう。」と思案しながら当時を懐かしく思われたことではし  
ょう。三句目。夫の好みに合わせて秋刀魚を焼く妻。夫婦円満。  
持てあます二人生活の大西瓜  
三沢 鈴木 貞恵 衣も食も住も気ままや秋暑し  
一塩を好みし夫に秋刀魚焼く 夢に見た浮輪で下るジオパーク  
皆野 引間 千鶴 皆野 戸塚喜久雄  
山門の風に休める処暑の朝 三沢 新井 民子 秋の道落ち葉まい散るオートバイ  
湯船から闇に潜む虫を聞く 下日野沢 新井 節子 皆野 新井 ちか  
火えん型土器見た帰り秋のセミ カモシカが庭まで来てるまた猛暑  
皆野小六年 太幡琉美花 上日野沢 四方田利男  
木陰にて見上げた空に鯛雲 合歡の盆義母と夫と吾も語る  
皆野 村田ハツ代 国神 藤原マキ子

俳句・短歌を募集  
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して  
みらい創造課までお寄せください。  
3日必着 1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう



琉斗くん  
大洲区 新井 慎一さん  
瑠美さん

いっばい遊んで、いっばい笑っ  
て大きくなってね。



七々ちゃん  
下日野区 大澤 博和さん  
恵美さん

よく笑い、周りを明るくしてくれ  
るナナちゃん。元気に育ってね。



今月の題字  
石渡 愛梨さん  
国神小1年

児童の見守り放送  
栗島 冬羽さん  
皆野小4年




※満1歳の赤ちゃんを募集します。11月号の締め切りは、10月10日(水)まで。ホームページからも応募できます。